

平成 29 年度  
理学部生物学科  
推薦入試

小論文

注意

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、問題用紙 1 枚と解答用紙 2 枚からなっています。それらが不備な場合は、直ちにその旨を監督者に申し出てください。
3. 解答は解答用紙に書き、全て横書きにしてください。書ききれない場合は、裏面も利用してください。
4. 受験番号は、全ての解答用紙の上部の所定欄に記入してください。
5. 試験終了後、解答用紙 2 枚を提出してください。問題冊子は持ち帰ってください。

実施年月日
28.11.30
富山大学

## 平成 29 年度 理学部生物学科推薦入試 小論文

次の問 1 と問 2 に解答しなさい。解答はそれぞれの解答用紙に記入しなさい。

問 1. 細胞の構造とはたらきについて次の問い(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 真核細胞と原核細胞の構造の違いを説明しなさい。
- (2) 動物および植物の細胞に共通の細胞小器官を2つあげて、それらの構造の特徴とはたらきを説明しなさい。
- (3) 本年のノーベル医学生理学賞受賞者の大隅良典博士は、酵母の研究を通じてある細胞小器官のはたらきを明らかにした。どのようなはたらきを明らかにしたのか、説明しなさい。

問 2. 次の問い(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 「外来生物法」は、問題を引き起こす海外起源の生物を指定して、飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった取扱いを規制する法律である。問題を引き起こしている外来生物の名前を3つあげて、どのような問題を引き起こしているか、それぞれ説明しなさい。
- (2) 人間の活動によって野生生物の生活場所が分断化することは好ましくないと考えられている。連続していた生活場所が、いくつかの小さな生活場所に分断化することによって引き起こされる問題点を答えなさい。

平成 29 年度 理学部生物学科推薦入試 小論文

解答用紙1

受験番号	
------	--

問1

平成 29 年度 理学部生物学科推薦入試 小論文

解答用紙2

受験番号	
------	--

問2